

製品名: CBX1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81487**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	21.4kDa

抗原情報

遺伝子名	CBX1
別名	CBX; M31; MOD1; p25beta; HP1-BETA; HP1Hsbeta; HP1Hs-beta
遺伝子 ID	10951.0
SwissProt ID	P83916
免疫原	大腸菌で発現したヒト CBX1 (AA: 1-185) の精製された組み換え断片。

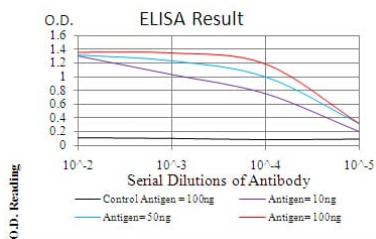
背景

この遺伝子は、ヘテロクロマチンタンパク質ファミリーに属する、高度に保存された非ヒストンタンパク質をコードしています。このタンパク質はヘテロクロマチンに豊富に存在し、セントロメアと関連しています。このタンパク質は、メチル化リジン残基を介し

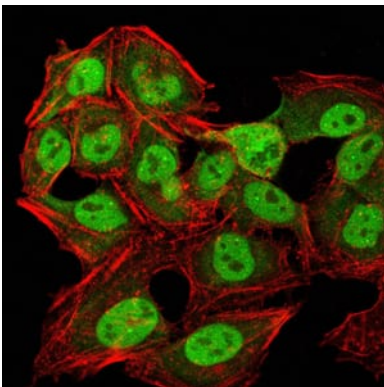
てヒストンタンパク質に結合できる単一の N 末端クロモドメインと、多数のクロマチン関連非ヒストンタンパク質とのホモ二量体形成および相互作用を担う C 末端クロモシャドウドメイン (CSD) を有しています。このタンパク質は、クロマチン構造と遺伝子発現のエピジェネティック制御において重要な役割を果たしていると考えられます。関連する偽遺伝子が 1 番染色体、3 番染色体、および X 染色体上に複数存在しています。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング変異体が同定されています。

研究分野

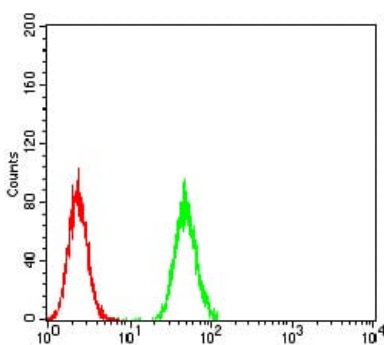
画像データ



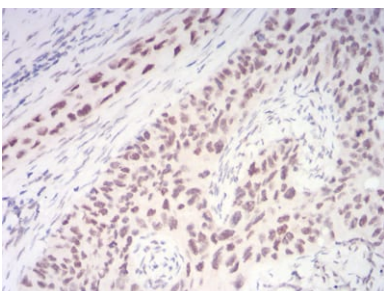
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



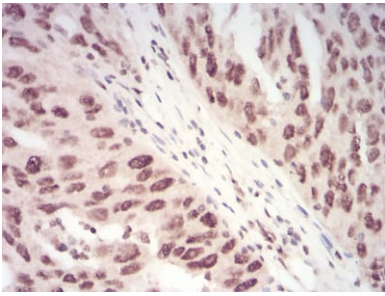
CBX1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



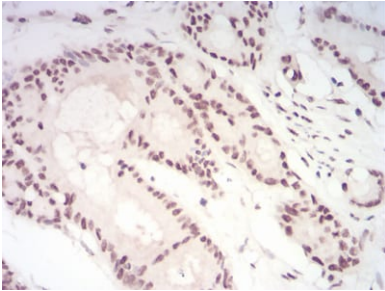
CBX1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



CBX1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



CBX1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



CBX1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。